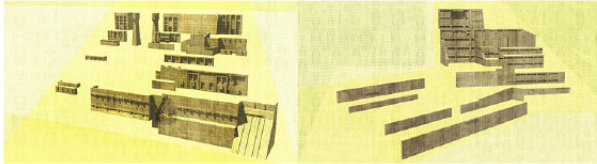


DESIGN METHOD

運送場の痕跡を設計に取り入れる

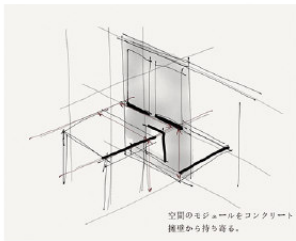
鉄道駅、駅周辺におけるプログラムは、ウイスキー蒸留所と宿泊施設、及びそれに付随したバーやレストラン、温泉等が挙げられる。それぞれに残されたコンクリート基礎、構築をいかにインテグレーションしていくということが全体を通じて設計の手掛かりとなる。また、構築には様々な特徴的なファサードが残されているので、空間のモジュールや階高など、設計の手掛かりとしていく。



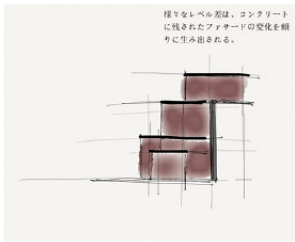
Left: 鉄道駅 / Right: 駅周辺



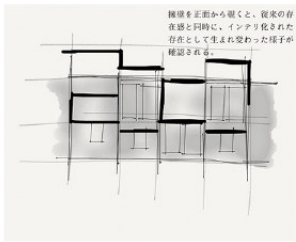
コンクリートに対して厚層を付けていく。
インテグレーションすることによりコンクリートの変化を隠さず、内部空間を性格付ける素材としての魅力が生まれる。



空間のモジュールをコンクリート構築から持ち寄る。



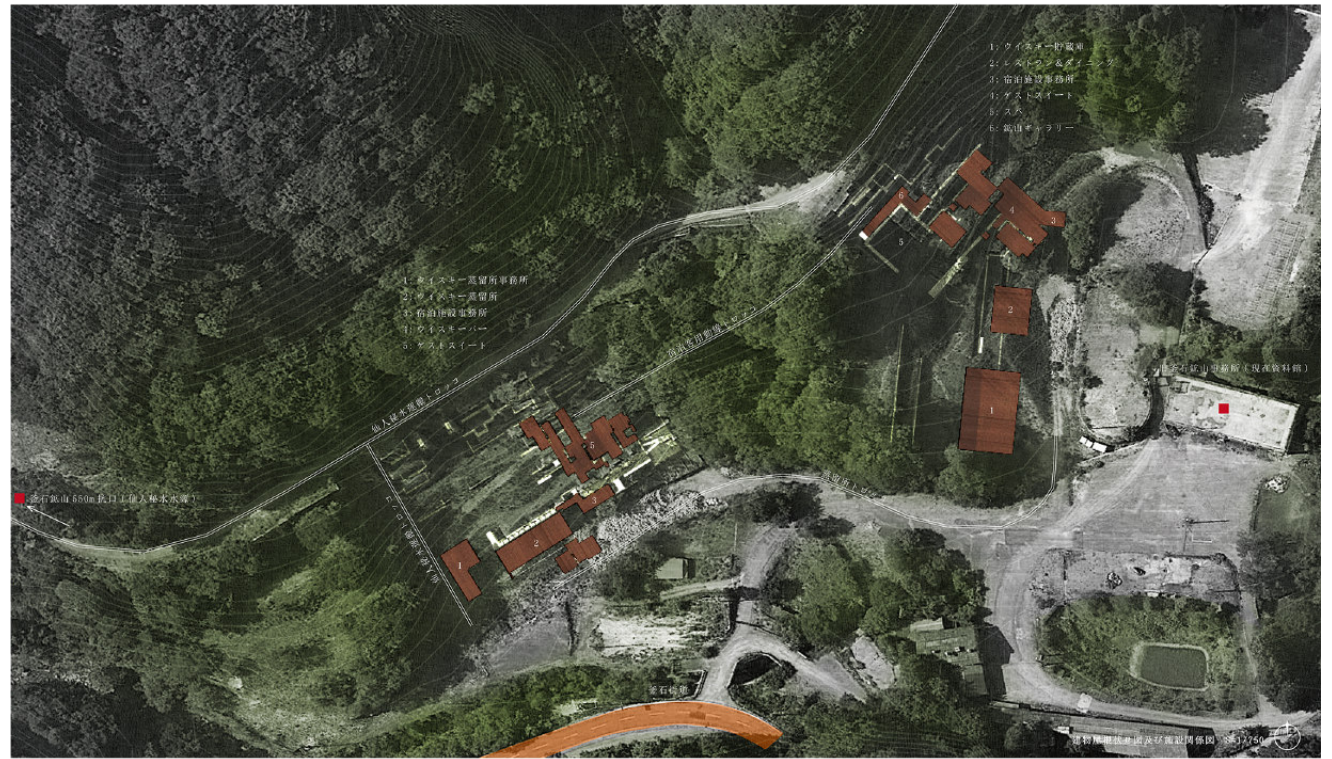
様々なレベル差は、コンクリートに残されたファサードの変化を頼りに生み出される。



種々の断面から見て、従来の存在感と同時に、インテグレーションされた存在として生まれ変わった様子が確認できる。

SITE PLAN

使われなくなったトロッコを再利用し軌線に利用する



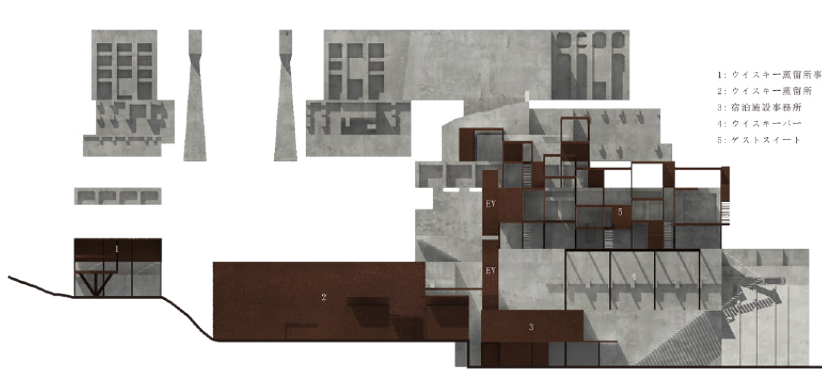
- 1: ウイスキー貯蔵庫
- 2: レストラン&ダイニング
- 3: 宿泊施設事務所
- 4: ゲストスイート
- 5: スパ
- 6: 登山ギャラリー

- 1: ウイスキー蒸留所事務所
- 2: ウイスキー蒸留所
- 3: 宿泊施設事務所
- 4: ウイスキーバー
- 5: ゲストスイート

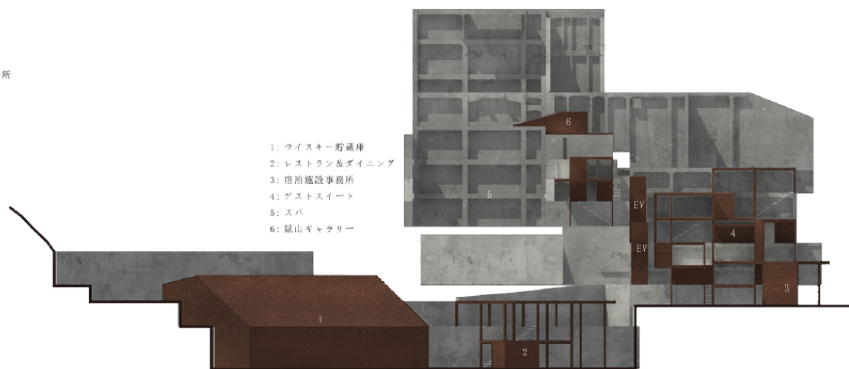
- 主要アクセス道路
- トロッコ軌道線
- 既存施設

ELEVATION

種々の特徴的なファサードが建築の様相をつくりだす



- 1: ウイスキー蒸留所事務所
- 2: ウイスキー蒸留所
- 3: 宿泊施設事務所
- 4: ウイスキーバー
- 5: ゲストスイート



- 1: ウイスキー貯蔵庫
- 2: レストラン&ダイニング
- 3: 宿泊施設事務所
- 4: ゲストスイート
- 5: スパ
- 6: 登山ギャラリー

鉄道駅建群縮小設計図面 S=1/300

駅周辺建群縮小設計図面 S=1/300

RENOVATION

廃棄トロッコの利用

かつて釜石鉱山の坑道を鉱石を積み走っていたトロッコは、今も多くが残されており、リノベーション可能である。今回計画では、鉄道駅と駅周辺を結ぶための軌道手段としてトロッコを利用する。

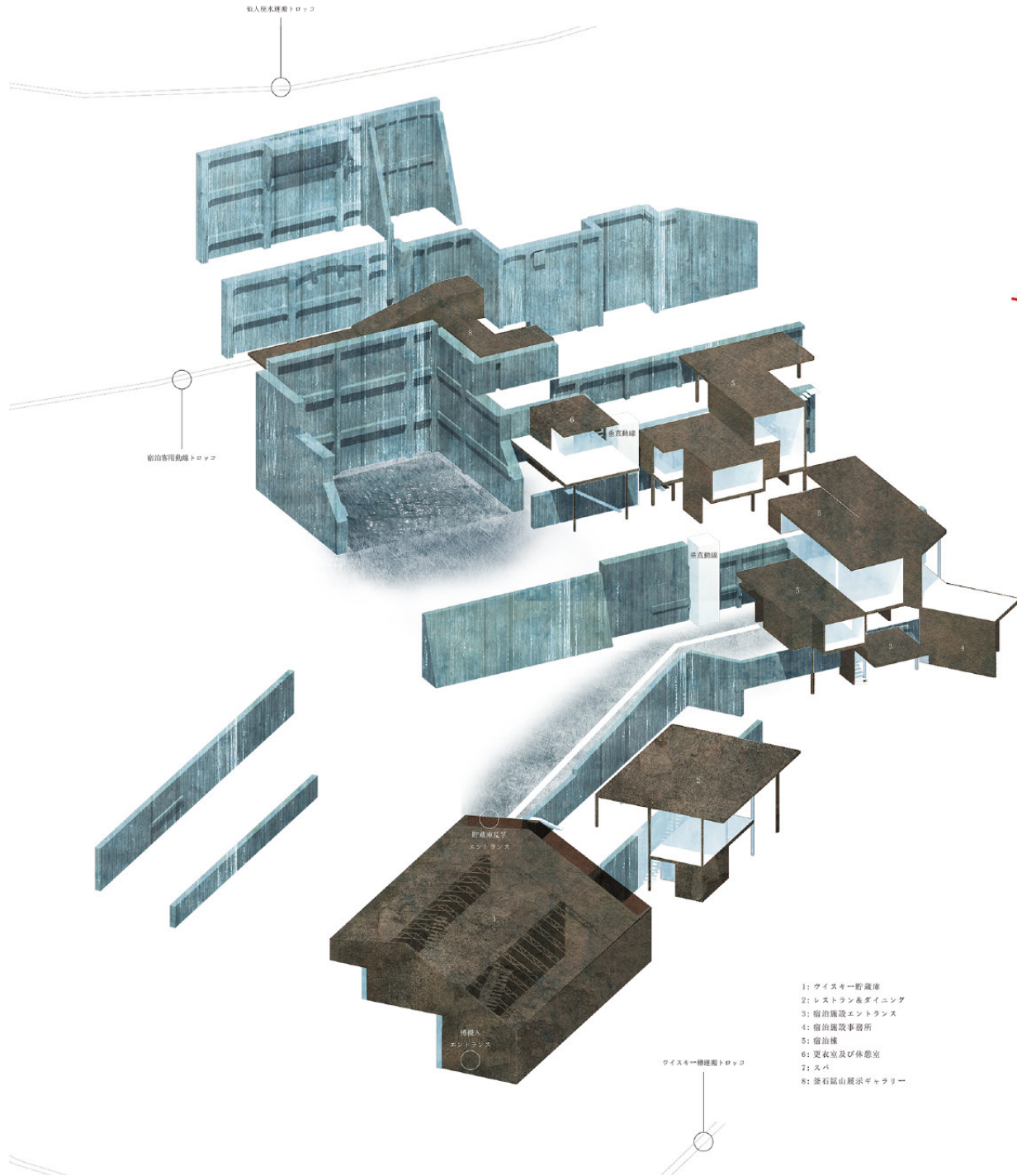
具体的には、宿泊客用と観光客用、そして登山客用水道から蒸留所への運搬用の3種類に分けられる。



全長: 3820mm
全幅: 1310mm
軌間: 762mm

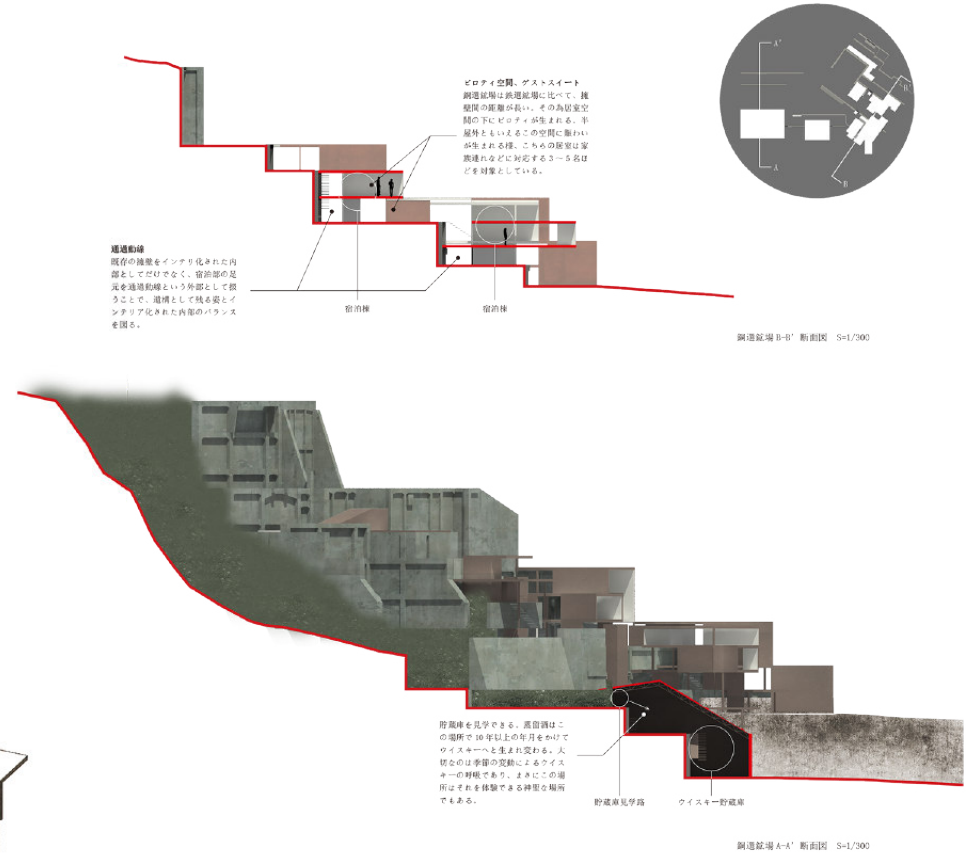
ISOMETRIC

副道館現跡地を利用したワイスキー貯蔵庫と宿泊施設及び釜石鉱山展示ギャラリー



SECTION

既存構造物の傾きがその存在感を人々の視覚に強調される



PERSPECTIVE

痕跡をインテリア化する

